

No.	意見者	該当資料	該当ページ	当該箇所	提案・意見等	対応
1-1	牧委員	1-1	1	2 基本理念(1)「第6次障害者計画」	・障害のある人も、ない人もまた、高齢者であれ、「健康福祉」の理念は一つである。似たようなのが、2つあるがどちらかに統一した方がよい	今回は健康福祉全般に係る計画ではなく、障害者や障害児を対象とする障害福祉部門に特化した計画です。そのため、基本理念についても分けて検討したいと考えています。
1-2	牧委員	1-1	全般	全般	・(2)②精神障害者の見守りは大変やっかいである。具体策はどうなりますか。小生が民生委員の時大変苦労したし、現在も別人だが自治会活動を阻害している。解決できるカウンセラーを用意してもらいたい。(どこに相談しても解決できない現実がある。)	カウンセラーの配置は考えておりませんが、精神障害者を地域で支えるため地域包括ケアシステムの構築を目指し、関係機関との連携について計画に記載します。
1-3	牧委員	1-1	1	3 (2) ⑤発達障害者等支援の一層の充実 ⑥障害児の社会参加を支える取組	・(2)⑤⑥はまとめて良いのではありませんか	基本理念については国の基本指針に沿って項目立てしています。特別な理由が無い限り国の基本指針に沿って行きたいと考えています。
1-4	牧委員	1-1	2	第1編第3章 障害福祉施策の現状と課題	・第1編第3章の「傷害福祉サービス」に対する重要性とは、どういう意味ですか	障害福祉サービスについては今後ニーズの増加や多様化が見込まれています。こうした変化に対応するためには財源の確保が重要課題であると考えています。
1-5	牧委員	1-1	2	第2編第2章 生活支援サービスの充実	・第2編第2章の「相談支援体制の充実についてこれについて、小生は「千葉県精神保健センター」で6ヶ月に亘り研修して「電話相談員」の資格を認定いただいた。県保健センターでは、4人体制(1名職員、3名ボランティア；千葉市内在住の方)で、現在も毎日実施していると思います。流山市でも検討はどうか。(条件：東葛地区の研修参加者は、交通費予算無いため研修のみだった)	計画の中に電話相談員の充実について記載するかどうか、内部で検討したいと思います。
1-6	牧委員	1-1	2	第2編第4章 子育て・教育の充実	・第2編第4章「学校教育の充実」について小生が運営している「NPO法人流山安心安全ネット」で小学生対象の「習字・書写」を月2回実施している(十太夫福祉会館)5名迄限定で特別に無償で支援しますがご希望者はいますか調査してください	広報掲載等の可否について検討します。
1-7	牧委員	1-1	3	第1章 計画の策定にあたって	・PDCAサイクルの必要性について記載しますとありますが、当たり前のことです。	2020年7月現在、PDCAサイクルの重要性については広く認識されています。市の考えとして確認するために記載しています。
1-8	琉委員	全般	全般	全般	「障害」という表記の仕方について今まで特に変えてほしいという要望等はなかったでしょうか。(障がい)(障がい者)・・・等、その他(障碍)(障碍者)・・・等、その他	障害者団体の皆様からいただいた意見としては漢字と平仮名のどちらでもよく、市民の人たちに障害者障害者を理解してほしいとのことでした。市としても法律に合わせ漢字表記としたいと考えています。
1-9	琉委員	1-2	24 54	(5)学ぶための環境について望むこと (2)障害を理由とした差別の経験	学校現場の先生に対して不満がかなり高いのですが、どのような方法で学校職員に伝えているのでしょうか。⑤で40.5%が相談していないと回答していますが、これでも改善してきた状況でしょうか。	庁内で情報共有し改善に向けて取り組みます。
1-10	石渡委員	1-1	2	第2編第4章 子育て・教育の充実	「保育・就学前教育の充実」について、幼少期の個別指導の充実を図り、各個の才能の発掘と自立心を育みたい	ご意見として参考とさせていただきます。
1-11	石渡委員	1-1	2	第2編第5章 就労支援、雇用の促進	アンケート(P38)では、約3割の方が働いている。より一層、就業支援を図り、雇用促進を働きかける。(公共機関や企業への雇用促進を図る)	計画においても一般就労への移行について明記します。

No.	意見者	該当資料	該当ページ	当該箇所	提案・意見等	対応
1-12	石渡委員	1-2	57	11 成年後見制度について	成年後見制度については、障害者の5割の方が知っていると言えられているが、9割の方が利用していない。 これからの高齢化社会や老々介護を考えると、流山市として、成年後見制度の整備が期待されている。	成年後見制度利用促進については、高齢者支援計画との整合性を図りながら、取り組みについて記載します。
2-1	山中委員	1-2	29 30	(4) 障害児通所支援等の実績	本日の審議会の資料番号1-2のP30の平成30年度から令和2年度の見込み量と実績値の表中の「障害児相談支援」の欄について。 障害児の直接支援事業の児童発達支援や放課後デイサービスの実績は、年ごとに増加する見込み量を設定しているにもかかわらず、見込み量を上回った実績値となっています。一方、相談支援事業に関しては、見込み量に実績値が達していません。この事について事務局としてはどのようにとらえていらっしゃいますか？ 相談支援の事業者数は、見込み値よりも上回って増加しております。事業者は増えているのに件数が増えていないように見えます。	ご指摘のとおり、現在は障害児相談支援の提供体制が十分に整備されていない状況であるととらえています。障害児通所サービスの利用者の増加は著しく、計画作成可能な人数を上回っています。また、障害児相談支援事業所の増加については、障害者を主とする事業所が多いため、事業所数の増加に比べ、計画作成の人数の増加数は少なくなっています。次期計画では直近数年間の実績値を参考に見込値を設定します。
2-2	山田委員	1-3(6月30日資料)	54	10 権利擁護について	前審議会にて「関連部署」との協同について質問したが左記アンケート問48で「不当な差別的取り扱い」を受けた場所のうち一番多いのが「学校など」となっている。この点、教育委員会の見解はございましたか？	特に見解は把握していませんが庁内で情報共有し改善に向けて取り組みます。